

# 火傷や怪我の防止・ 応急処置について

# 1. 職場での火傷や怪我

🔍 各事業所で、火傷・怪我をする危険がある場面・場所は？

- ・ 実際に経験したヒヤリハット
  - ・ 過去に実際にあった事例
  - ・ 現場で見た怪我に繋がりそうな作業場所
- ・・・等



# 1. 職場での火傷や怪我

🔍 実際に、火傷や怪我を防ぐために  
している取り組み・またはこれから  
出来ることは？

- ・ 朝礼や終礼などでの取り組み ✨
- ・ 日頃から意識していること
- ・ 職場だけではなく家庭で心がける  
ことが出来ることは？



# 2. 火傷の応急処置方法

1 患部を冷やす



患部を少し外して水をかけます

2 装身具を外す



可能なかぎり、外しましょう

3 患部を保護し、病院へ



患部は強く押さえたりせず、優しくおおいましょう

病院へ

◎ **急いで冷たい水・水道水を注いで**

**痛みが取れるまで冷やす(15~30分目安)**

◎ **衣類は無理に脱がさず、そのままの状態で冷やす**

◎ **水ぶくれは潰さずに、**

**消毒・洗濯した布で覆い、その上から冷やす**

◎ **冷やした後、患部を清潔なタオルやガーゼで優しく覆い**

**そのまま医療機関を受診する**

# 3.火傷の応急処置の注意点

## ！ 注意点！

※診療前に、**軟膏や消毒薬は自己判断では塗らない！**  
(感染を起こしたり、医師の診断の妨げになるため)

※あまり**強い流水をあてない！**  
(水圧による痛みの増幅や患部悪化の原因になるため)

※小児や高齢者は広範囲を長時間  
冷やすと、**低体温症** などになる恐れ  
があるので様子を見ながら**冷やしすぎ**  
**に注意する**



# 4. 医療機関の受診

## ◎ 医療機関での受診をしたほうが良い場合

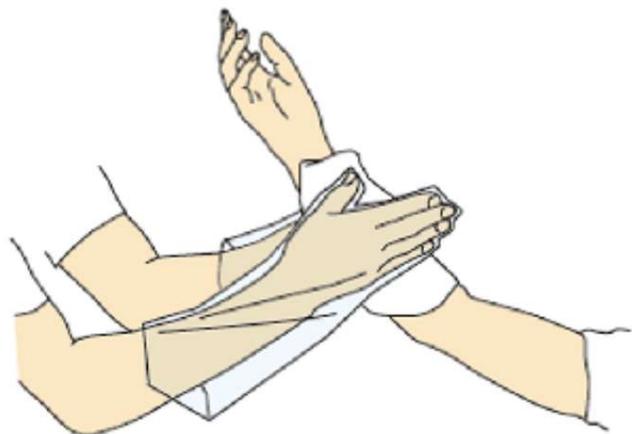
- ・ 皮膚が赤くはれて水ぶくれを起こし強い痛みがある
- ・ 皮膚が白く乾燥して、毛が簡単に抜けたり痛みを感じない場合（神経が壊れている可能性あり）
- ・ 低温火傷（深く火傷していることが多いため）
- ・ 電気火傷（雷や電流に触れたとき）
- ・ 化学火傷（酸やアルカリに触る等した場合）
- ・ 気道火傷（火事などで熱気や煙を吸った場合、ひどいときは窒息するおそれがある）



軽いやけどでも、感染を起こしたり跡が残ったりすることもありますので、  
**迷った時は必ず病院に行きましょう！！**

# 5. 出血の応急処置方法

\* 最も基本的な止血法。多くの出血はこの方法で止血出来ます。



## ◎ 直接圧迫止血法

出血している傷口をガーゼやハンカチなどで直接強く抑えて圧迫する方法

※止血する人は、出来る限り**ビニール手袋**や**ビニール袋**を使用し、感染予防に努めます。まずはこの方法で止血を試みて、その後医師の診断を受けましょう！

# 6. 出血の応急処置方法 (2)

## ◎ 鼻出血の場合



- ・ 座って**軽く下**を向き、鼻を**強く**つまむ
- ・ **額から鼻の部分**を冷やし、ネクタイなどをしている場合は緩める
- ・ ガーゼを切って軽く鼻孔に詰め、鼻を強くつまむ
- ・ このような手当で止まらない場合は **医師の診療を受けさせる**

※頭を後ろにそらせると、血液が喉に流れ、苦しかったり気持ち悪かったりするので **上を向かせないようにする!**

# 7. 救急箱の設置と中身

## \*チェックリスト\*

救急用品類	薬類
体温計	消毒液
包帯	風邪薬
ガーゼ	胃腸薬
ガーゼ止用テープ	鎮痛剤
絆創膏	湿布薬
綿棒	軟膏材
ピンセット	
はさみ (清潔なもの)	

※年に1度は中身の確認をしましょう。

※使った後は必ず元に戻しましょう。

※直射日光が当たらない、湿気の少ないところで保管しましょう。



# 8. 今日のとまとめ

- ◎ 火傷をしたときは痛みが取れるまで冷やす
- ◎ 衣類をはがす、水ぶくれをつぶす、薬を塗るなど自分の判断でしないこと！
- ◎ 迷った時は必ず病院へ行きましょう！
- ◎ 何かあったときの為に救急箱を用意しましょう！

一年間、ありがとうございました！引き続き代表メンバーの方は、よろしくお願ひいたします。議事録の確認も忘れずにお願ひします！

次回は7月25日(木)18：30～19：00の予定です。